

2019
2月

月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第174号①【基準日 2019年1月31日】



🌸 社長メッセージ



相場変動に一喜一憂しない

ありがとう投信株式会社
代表取締役社長 長谷 俊介



皆さま、いつもありがとう投信をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。今年もあっという間に1ヶ月が過ぎてしまいましたが、いかがお過ごしでしょうか？今年も例年にも増してインフルエンザが流行しているようですので体調管理には気を付けてくれぐれもご自愛ください。

引き続きボラティリティは高く

さて、昨年末からマーケットは激しく乱高下しておりましたが、先月中盤以降は落ち着きを取り戻し、過度な悲観が後退して1月の世界の株式市場は上昇した1ヶ月になりました。しかしながら、米中貿易摩擦による実体経済への悪影響が企業業績に波及する懸念が高まれば再び調整する可能性は少なくないと考えます。また、米国の利上げ見通しの変化が為替相場や株式市場に与える影響も大きく予断を許さない状況はしばらく続きそうです。

国内においては、統計不正問題が大きく関心を集める中、日銀は物価上昇見通しを再び下方修正しました。今年5月に元号が変わり、10月には消費税率が10%へ増税されることによる景気の落ち込みが警戒されています。足元では英国のEU離脱問題がどのように着地するのかに注目が集まっており、引き続きマーケットのボラティリティは高い状態が続くと思われます。

相場変動は避けられない

元本が変動する金融商品に投資して資産運用をしていく場合、短期的な相場変動を予測したり、価格下落を回避することは難しく、相場変動は避けて通ることはできません。株価は長期で見れば本質的な企業価値と相関があり収れんしていくと考えられていますが、短期ではマーケット全体の動向や需給に大きく左右されます。例えば、株式市場がバブルのように過熱しているときは企業の本質的な価値よりも割高な価格まで上昇したり、反対に株式市場が暴落したときは企業の本質的な価値よりも割安な価格まで下落することがあります。

マーケットの特徴として上下どちらにも行き過ぎるところがありますが、一方でそれはリターンをもたらす要因でもあります。企業の本質的な価値が今後も上昇していくことが見込まれる株式を価格が下がってリーズナブルになったところで購入することができればリターンの獲得につながり、パフォーマンスが向上・改善することになるでしょう。



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

国際分散投資している弊社のありがとうファンドでは、持続的、安定的に企業価値を向上させて成長していける企業を世界中から厳選している実績のあるアクティブファンドを中心にポートフォリオを構築しております。現在のような先行き不透明なマーケット環境では、アクティブ運用の目利き力がより一層試されて運用成果の差がつきやすい環境であると考えます。

資産運用を継続していこう

投資信託で資産運用をしていく場合、投資先の目利きはプロにお任せしているの、目的や目標に向かってコツコツと時間分散投資しながら資産運用を継続していくことがとても大切になってきます。



マーケットは常に変動しているの、現在のようなマーケット環境は決して特別なものではありません。資産運用で世界経済の成長と企業の利益成長のリターンを享受することを目指していくことは、同時に変動するマーケットに参加していくことでもあります。

「リスクのないところにリターンなし」と言われますが、資産運用においては変動するマーケットに参加しなければリターンを享受することはできません。ですから、マーケットの変動に一喜一憂することなく、これからも皆さまそれぞれの目標に向かって資産運用を私たちと一緒に継続して参りましょう。

投資先を身近に感じてもらうセミナーを全国で開催中！

弊社では世界の投資先企業を身近に感じてもらうために、現在全国で【世界の景気敏感セクターをのぞいてみよう】(投資先セクター企業分析)セミナーを開催中です。国際分散投資ファンドとして日本だけでなく世界の広さを感じてほしい思いで、投資に興味を持ってもらえるようになるべく日々の生活に関連するところまで落とし込む内容になっております。景気敏感銘柄とは何か？(vs成長銘柄とは何か？)、輸出入業の為替感応度は？世界時価総額比較、耐久消費材セクター、金融セクター、運輸セクター、エネルギーセクターについて個別企業の事例を交えながら詳しく紹介していきますので是非ご参加頂ければ幸いです。(詳細&申し込みは[こちら](#)から)

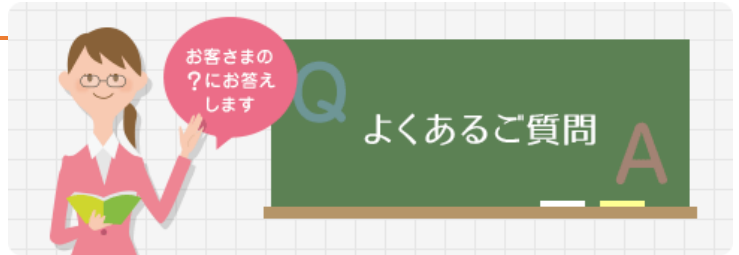
弊社は引き続き独立系の資産運用会社としての強みを活かして、親会社や系列グループの意向に縛られることなく、本当に良い投資先を厳選して様々な国・地域の価値ある資産に国際分散投資することによって、リスクを抑えながら長期で安定した運用パフォーマンスの提供を目指して参ります。

これからもお客様の資産運用を一生涯サポートしていけるように、役員一同、力を合わせて精進して参りますので、今後ともありがとう投信を何卒よろしくお願ひ申し上げます。



今月の39Q&Aコーナー

【配当所得の課税方式について】



上場株式等の配当所得について、所得税と住民税で異なる方式を選択できるようになったと聞いたけど、詳しく教えてくれないかしら？

上場株式等の配当所得については、「申告不要制度」「申告分離課税」「総合課税」の3つの課税方式があります。この中からお客さまが任意の方法を選択（大口株主等は除く）することができますが、所得税と住民税で異なる方式を選択することは今まではできませんでした。

それが、2017年度税制改正によって、所得税と住民税で異なる課税方式を選択することが可能となりました。所得税と異なる課税方式を選択する場合は、所得税の確定申告とは別に住民税の申告書をお住まいの市区町村に提出しなければなりません。申告方法については、お住まいの市区町村で確認する必要があります。



よくわかったわ。どうもありがとう。それで、異なる方式を選択できるようになったことで、どんな影響があるのかしら？

所得税と住民税で異なる課税方式を選択できることにより、負担する税金が少なくなる場合があります。申告不要もしくは申告分離課税を選択した場合は、税率は所得税と住民税合計で20.315%（所得税15.315%、住民税5%）がかかります。配当控除を受けるために総合課税を選択した場合、所得税の計算では課税総所得金額900万円以下の場合は総合課税が有利になります。一方、住民税については、所得割の税率が一律10%であるので、総合課税を選択すると配当控除率を差し引いても実質税率は7.2%以上となるため、税率が5%で済む申告不要制度か申告分離課税を選択することが合理的です。



また、配当所得の課税方式の選択においては、社会保険料負担への影響も考慮する必要があります。自営業者や年金生活者など国民健康保険や後期高齢者医療制度に加入している人については、市区町村が記録している所得の総額をもとに保険料が算出されます。このため、総合課税で所得税も住民税も金融所得を申告すると社会保険料が増えたり、医療や介護の利用者負担の窓口負担割合や負担限度額が引き上げられることがあるので注意が必要です。税制のメリットを受けながら社会保険料の負担が変わらないようにするには、所得税は所得金額に応じて総合課税か申告不要又は申告分離課税を選択して、住民税は申告不要を選択する必要があります。ご参考までに次のページの表【配当所得にかかる課税方式ごとの正味税率】を確認して頂ければと思います。



どうもありがとう。税金だけでなく社会保険への影響も考えないとトータルで負担が増加してしまうことがあるのね。ありがとうさんはやっぱり頼りになるわ。これからもよろしくね。

【配当所得にかかる課税方式ごとの正味税率】

課税方式		方式①	方式②	方式③
課税所得金額		所得税も住民税も 申告不要(又は申告分離)	所得税も住民税も 総合課税	所得税は総合課税・ 住民税は申告不要
	195万円以下	20.315% (所得税 15.315% 住民税 5%)	7.2%※	5%※
195万円超	330万円以下		7.2%	5%
330万円超	695万円以下		17.41%	15.21%
695万円超	900万円以下		20.473%	18.273%
900万円超	1000万円以下		30.683%	28.483%
1000万円超	1800万円以下		37.188%	33.588%
1800万円超	4000万円以下		44.335%	40.735%
4000万円超			49.44%	45.84%
最も税率の低い 課税方式 (課税所得判定)	900万円以下	×	×	○
	900万円超	○	×	×
判定結果解説		所得が900万円超の場合、 税負担が一律なので有利	いずれの場合も選択する と不利になる。 社会保険負担が増える 可能性もあり。	所得が900万円以下の場 合、税負担が軽くなる。 住民税は申告不要なので 社会保険への影響なし。

法令等をもとにありがとう投信作成。0.001%未満四捨五入。配当控除以外の税額控除はないと仮定。

※は配当所得にかかる税額から控除しきれない配当控除は、他の所得から控除



積立投資のススメ!

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです♪

「定期積立サービス」とは・・・毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていきながら、複利効果でリターンチャンスとなります。

②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場がいい時もよい時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。



③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。

期間	平均取得単価	損益
1年	18,233円	-6.69%
3年	16,855円	0.94%
5年	15,934円	6.78%
初回(2004年10月)から	11,239円	51.38%

2019年1月31日現在(基準価額:17,014円)

右の表は過去の実績として、ありがとうファンドを10,000円ずつ1年、3年、5年、14年と定期で積み立てた場合の実際の平均取得単価と損益となります。続けていくほど利益がでていくのがわかるかと思います。

投資信託をいつ買えばよいか?とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、時間での分散が効果的です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価を平均化されることで、分散の効果が得られます。



タイミングを見計らうのではなく、時間を味方につけていきましょう!

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。
 ※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。
 ※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

セミナーのお知らせ

参加人数に限りがございます。お申し込みは弊社 HP まで♪ (<https://www.39asset.co.jp/html/seminar/index.htm>)

セミナータイトル	開催日	開催地	時間	講師
世界の景気敏感セクターをのぞいてみよう！	2月11日 (月)	仙台	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう新規口座開設 個別相談会(事前予約制)	2月12日 (火)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう個別相談会(事前予約制)	2月13日 (水)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
世界の景気敏感セクターをのぞいてみよう！	2月16日 (土)	札幌	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう新規口座開設 個別相談会(事前予約制)	2月20日 (水)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう個別相談会(事前予約制)	2月21日 (木)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
世界の景気敏感セクターをのぞいてみよう！	2月23日 (土)	大阪	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
世界の景気敏感セクターをのぞいてみよう！	2月24日 (日)	名古屋	9:30～ 11:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう新規口座開設 個別相談会(事前予約制)	2月27日 (水)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう個別相談会(事前予約制)	2月28日 (木)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
世界の景気敏感セクターをのぞいてみよう！	3月2日 (土)	福岡	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう新規口座開設 個別相談会(事前予約制)	3月5日 (火)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう個別相談会(事前予約制)	3月6日 (水)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう新規口座開設 個別相談会(事前予約制)	3月12日 (火)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう個別相談会(事前予約制)	3月13日 (水)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう新規口座開設 個別相談会(事前予約制)	3月19日 (火)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう個別相談会(事前予約制)	3月20日 (水)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう新規口座開設 個別相談会(事前予約制)	3月26日 (火)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう個別相談会(事前予約制)	3月27日 (水)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

2019年 毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引き落とし口座変更】	【定期の引落とし金額を変更】 【定期引落としを中止】	【引落日】	【約定日】 (ファンドの購入日)
2月分	受付終了	受付終了	2月6日(水)	2月19日(火)
3月分	受付終了	2月22日(金)	3月6日(水)	3月18日(月)
4月分	3月5日(火)	3月27日(水)	4月8日(月)	4月18日(木)
5月分	4月4日(木)	4月17日(水)	5月7日(火)	5月17日(金)

ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

2月	18日(月)	ワシントン誕生日	ニューヨーク証券取引所休業日
3月	-	-	-
4月	19日(金)	グッド・フライデー	ニューヨーク証券取引所休業日 ルクセンブルクの銀行休業日
	22日(月)	イースター・マンデー	ルクセンブルクの銀行休業日



ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年0.972%(税抜0.9%)の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年1.60%±0.2%(概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	当ファンドに組み入れるファンドを売買する際に発生する売買委託手数料およびこれにかかる消費税相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。 ※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。

■R&I ファンド大賞について

R&Iファンド大賞は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。